

AIと教育の現在地 スタートガイド

海外の最先端事例から学ぶ — なぜ今、AIなのか

対象：セミナーA全参加者

3つの数字が変えた教育の常識

「AIは便利そう」という印象論ではなく、世界中の研究者・教育者が科学的に検証した数字があります。3つの海外事例から、現在起きている変化を見ていきましょう。



Khanmigo

Khan Academy (米国)

正答率向上

6.1%

次の問題の正答率が向上
1,500万スレッドの実証実験

GPT-4ベースのAIチューター。2025年10月～2026年4月の6ヶ月間に渡る大規模実験で、認知的エンゲージメントも5.09%向上。2024-25年度に70万人以上のK-12生徒が利用。

⚠ 実使用率は約15%。ツールを入れるだけでは不十分という重要な教訓も示している。



Squirrel AI

松鼠AI (中国) ギネス認定

ギネス世界記録

+8.78点

AI群 87.58点 vs 従来群 78.80点
5年生・1,662人のランダム比較実験

2025年12月15日、「最大規模のAI vs 従来型授業比較実験」でギネス認定。6年生ではさらに大きな差：AI群92.91点 vs 従来群79.07点 (+13.84点)。現在2,400万人に提供中。

✅ 低・中・高学力層すべてで改善。
特に基礎の弱い生徒への効果が顕著。



教員の業務効率化

複数機関の調査データ

週間時間節約

5.9時間

教員がAIで節約できる週あたり時間
授業準備・採点・資料作成を中心に

Duolingoのコンテンツ開発では6ヶ月→3週間(80%削減)を実現。シンガポールMOEでは教師向けAIコパイロット(ACP)が授業案を自動生成し、教員が本来の指導に集中できる環境を構築。

📖 塾での教材制作時間が劇的に短縮できるリアルなポテンシャル。



KEY INSIGHT

AIは「なんとなく良さそうなツール」ではなく、科学的に検証された教育手法になりつつある。問われているのは「使うか否か」ではなく「どう使いこなすか」。

シンガポール・中国・米国では国家規模の導入が進み、日本でも文科省ガイドラインが2024年にVer.2.0へ更新。対応は待ったなしの段階に入った。

● Khanmigo: Khan Academy Research Report 2025-26

● Squirrel AI: Guinness World Records 2025年12月認定

● Duolingo: Q1 2025 Earnings Report

● Singapore MOE: EdTech Masterplan 2030

AIと教育の現在地 スタートガイド

文科省ガイドラインの要点と、今日からできること

対象：セミナーA全参加者

文科省ガイドラインVer.2.0の要点

2024年改訂 Ver.2.0



初等中等教育段階における生成AIの利用に関するガイドライン

文部科学省 — 「AIと共に学ぶ」時代への公式指針

Ver.1.0 (2023年)
使うか、使わないか？
慎重な姿勢を基本



Ver.2.0 (2024年)
どう使うか？
活用を前提とした指導設計へ



01

適切な活用を前提に指導設計

「禁止」から「どう使わせるか」へ。
生成AIを使うことを想定した授業・課題設計が求められるようになった。使わせない工夫より、使い方を教える工夫へ。



02

情報活用能力・批判的思考の育成

AIの出力を鵜呑みにしない力が重要。
ファクトチェック、一次情報への当たり方、プロンプトの質を高める思考力が新しい「読み書きそろばん」。



03

教師の専門性はむしろ高まる

AIが代替できない「関係性・動機づけ・文脈読み取り」が教師の核心。ルーティン業務をAIに委ねることで、本来の指導に集中できる環境をつくる。



塾・民間教育機関への示唆：直接の規制対象外であっても、公教育のガイドラインは保護者・生徒の認識の基準線となる。「ガイドラインに沿った適切な活用」を訴求することが信頼構築につながる。【●●塾独自の活用方針があれば追記】

今日からできる 3ステップ

難しく考えなくて大丈夫。まず15分で体験してみましょう。「使えた！」という実感が、一番の出発点です。

1

STEP



ChatGPT無料アカウントを登録する

操作手順

chat.openai.com にアクセス → 「Sign up」→ メールアドレスで登録（Googleアカウント可）→ 無料プランで開始

所要時間：約5分

無料版（GPT-4o）で十分試せます。まずはクレジットカード不要でOK。

2

STEP



カスタム指示を設定する

設定場所

右上アイコン → 「カスタマイズ」 → 「カスタム指示」 → 自分の仕事・立場・使い方を入力

入力例：

「私は【●●地域】の個別指導塾の講師です。中学生向けの教材作成と保護者向け文書作成に主に使います。」

3

STEP



最初の1タスクを試す

おすすめタスク例

①今週の学習計画メモを下書きさせる ②保護者へのお知らせ文を3案作らせる ③教材の例題を5問生成させる

コツ：最初から完璧を求めない。

「なんか違う」と感じたら「もっと○○な感じで」と追加指示するだけでOK。



セミナー中に実際に体験します！

本日のセミナーでは、この3ステップを**全員で一緒に**実施します。スマートフォン・タブレット・PCを持参された方はすぐに試せます。持参されていない方も、画面投影で一緒に確認できます。【●● Wi-Fi情報・SSID・パスワードを当日案内】